

大劇場・小劇場・演芸場

劇場使用の ご案内





劇場使用の ご案内

大劇場・小劇場・演芸場

uide to using
NATIONAL
THEATRE

施設 使用に ついて

国立劇場はわが国の伝統芸能の公開・保存及び振興を
目的として、昭和41年に大劇場・小劇場が、昭和54年に
演芸場が設立されました。独立行政法人日本芸術文化振興会では、
劇場施設を自主公演や舞台機構整備等で必要な日程を
除いた日について、一般の方の利用に供しております。

主として日本の伝統芸能の上演に
お使いいただいておりますが、その他のご使用につきましても
お気軽に施設利用係までご相談ください。

国立劇場 営業部劇場課 施設利用室施設利用係

Tel 03-3265-7411(代) Fax 03-3265-9040

営業時間 10:00~18:00 (土日祝日、7/1、年末年始を除く)

1.【大劇場・小劇場】

利用案内	2
大劇場施設案内	6
小劇場施設案内	9

2.【演芸場】

利用案内	12
演芸場施設案内	15

3.【その他サービス】

4.【注意事項】

5.【稽古室のご案内】

以下の施設の使用につきましては、各劇場の担当係へお問い合わせください。

- 国立能楽堂 国立能楽堂 営業課劇場利用係(電話03-3423-1331・代)
- 国立文楽劇場 国立文楽劇場 営業課劇場利用係(電話06-6212-2531・代)
- 新国立劇場 公益財団法人新国立劇場運営財団 営業部劇場サービス課劇場係(電話03-5351-3011・代)
- 国立劇場おきなわ 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 事業課貸付係(電話098-871-3311・代)
なお、本冊子の内容に関しましては予告無く変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

利用案内【大劇場・小劇場】

使用方法

使用可能日

自主公演に使用する日、舞台保守・工事日等を除いた日程

使用時間

使用時間は次の6つに区分されています。なお、下記使用区分時間は舞台上をご使用になれる時間(舞台準備・居処調べ・舞台稽古の時間を含む)です。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 全日(午前10時30分～午後9時30分) | 4. 午後(午後1時～午後4時) |
| 2. 半日(午前10時30分～午後4時) | 5. 夜間(午後5時～午後9時30分) |
| 3. 午前(午前10時30分～正午) | 6. 午後夜間(午後1時～午後9時30分) |

1. 全日(午前10時30分～午後9時30分)		
2. 半日(午前10時30分～午後4時)		
3. 午前 (午前10時30分～正午)	4. 午後 (午後1時～午後4時)	5. 夜間 (午後5時～午後9時30分)
6. 午後夜間(午後1時～午後9時30分)		

- ❖ 上演内容によっては舞台準備、仕込等の時間が多めに必要な場合がございます。ご使用にあたっては時間に十分余裕を持った計画をお立てください。
- ❖ 仕込・バラシの作業が使用時間を超える場合は、別途料金が加算されます。
- ❖ 楽屋入り時間は全日使用の場合、午前9時30分からです。(全日使用以外の方は、各使用区分に従ってください。)
- ❖ 開場時間は原則として開演時間の30分前です。(最も早い開場時間は午前10時30分)
- ❖ 最終終演時間を厳守してください。超過した場合は超過料金を徴収し、以後の劇場使用に制限を加える場合もございますのでご注意ください。
- ❖ 楽屋退出は終演後40分以内をお願いいたします。(終演の遅い方も午後10時までに退出をお願いいたします。)

当劇場の業務範囲

当劇場のご使用にあたって、劇場職員は下記の業務を行います。
これを超える範囲につきましては請負業者に人員を発注いたします。
また、主催者側に人員のご用意をお願いすることもございます。

1

舞台 スタッフ

- ① 迫り機構、吊り機構使用のための基本的な操作卓操作
- ② 迫り機構、吊り機構操作時の安全確認作業
- ③ 劇場備品(定式大道具等)の管理及び使用説明

※舞台責任者(狂言方、舞台監督)は、主催者側で必ずご用意ください。小道具、床山、衣裳などは主催者側でご手配ください。
また、演出によっては各種プランナーをご手配ください。

2

照明 スタッフ

- ① 照明データ打ち込み、及び調光卓の基本的な操作
- ② 外部オペレーターが調光卓操作をする場合の卓操作補助
- ③ 劇場照明器材の管理及び使用説明

3

音響 スタッフ

- ① 音響データ打ち込み、及び音響卓の基本的な操作
- ② 外部オペレーターが音響卓操作をする場合の卓操作補助
- ③ 劇場音響器材の管理及び使用説明

4

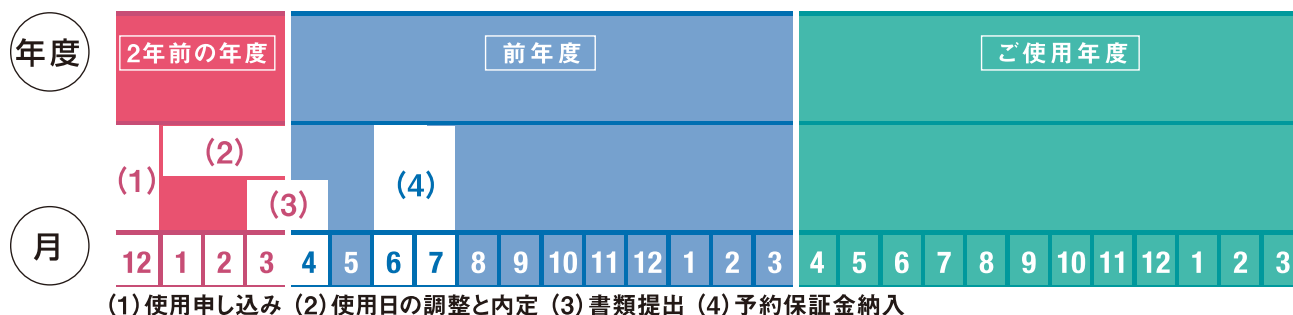
場内案内

スタッフ
(公演当日)

- ① 入場時のチケットもぎり
- ② ご来場者の座席案内
- ③ 基本的な場内アナウンス

ご使用までの流れ

国立劇場では1年を年度で区切っています。4月から翌年の3月までがひとつの年度になります。



使用
申し込み
(2年前の年度の
12月)

※受付時期については変更することもありますのでご注意ください。

使用時期のご希望及び内容を記入した「予約申込書」をご提出ください。

※受付は先着順ではありません。

※18・19ページの注意事項をご確認ください。

※稽古場のご使用につきましては20ページをご覧ください。

※特に国立劇場を初めてご使用の方は、使用条件、上演内容等につきまして施設利用係へご相談ください。太鼓など大きな音が出る公演には、ご使用に制限がかかる場合がございます。

※受付締め切り後も随時お申し込みを受け付けております。施設利用係までご相談ください。

使用日
内定

受付締め切り後、使用日の日程調整を行い使用日を内定いたします。花道の使用や前後の公演内容、大劇場と小劇場との兼ね合いなど考慮のうえ調整いたしますのでお申し込み時にはできるだけ詳しい公演内容をお知らせください。

※お申し込み状況によっては、抽選になることもございます。

※内定状況はお申込者本人様以外には一切お答えいたしません。

予約保証金
納入

内定後、「使用申込書」をご提出いただきます。その後予約保証金をご請求いたします。予約保証金は使用料の50%です。予約保証金の納入を確認して使用の正式ご契約が成立となります。

※期限までに予約保証金が納入されない場合、ご使用が取り消されることもございます。

※納入された予約保証金は、原則としてキャンセルの場合でもお返しいたしませんのでご了承ください。

※「使用申込書」記載以外の目的に使用することはできません。

※使用権の譲渡はできません。使用者の死亡や襲名によって名義が変更になる場合にはご連絡ください。

利用案内【大劇場・小劇場】

事前 打合せ

使用の一ヶ月程度前に舞台（舞台進行・道具・照明・音響）、会場まわり等について、舞台担当者、施設利用係担当者とは十分な打合せを行っていただきます。前もって所定の用紙をお送りしますので、公演の詳細を記入してご提出ください。追って担当者から連絡を差し上げます。

打合せ内容

- 器材搬入、稽古（リハーサル）、開場、開演、終演、器材搬出の時間について
※特に、開場、開演、終演時間については、ポスター・チラシ・プログラム等を印刷する前にご相談ください。（→18ページ「印刷物の作成」参照）
- 催し物の進行について（舞台上の飾り、大道具、照明、音響等）
- 出演者の総数、楽屋割り、到着時間について
- 当日の会場の受付、案内、場内・場外整理の方法及び人員について
- 物品販売、取材等の有無
- その他使用上の注意及び確認

下記ページもご覧ください。
・その他サービス→17ページ
・注意事項→18ページ
・稽古室の使用→20ページ

ご持参いただく資料

- 舞台図（舞台写真）、仕込図、プログラム（チラシ）、台本、道具帳、進行表など公演の参考になる書類
- ◇ 公演前日に楽屋等の準備をいたしますので、公演2日前までに楽屋割り、楽屋札、タイムテーブル等をご提出ください。

公演当日

楽 屋

- 楽屋入り時間は全日使用の場合、午前9時30分からです。（全日使用以外の方は、各使用区分に従ってください。）それ以前にお越しになられても楽屋へは入れませんので、その旨出演者の皆様にご周知願います。
- 楽屋での盗難については責任を負いません。使用者が責任を持って管理してください。（楽屋にはコインロッカーがございます。）
- 楽屋内及び舞台上は土足厳禁です。
- 楽屋とロビー間の扉はセキュリティーのため施錠されています。関係者にはカードキーを貸与いたします。
- 出演者であってもロビーに出られる方は必ずチケットをご持参ください。また、楽屋スリッパでロビーに出ないでください。
- 舞台担当者の指示があるまで舞台へは出ないでください。
- その他、楽屋係の指示に従ってください。

開 場 前

- 劇場スタッフ及び資料用として担当者にプログラムを30部ご提供ください。
- 開場前に客席・場内の点検をいたします。開場前に客席・場内にある荷物等は撤去いたしますのでご了承ください。特に開場前の席おさはご遠慮ください。
- 開場時には数名の整理員をロビーに配置してください。特に開場前に多数の来場者がある場合や開場が遅れる場合、主催者側の責任で整理に当たってください。

利用案内【大劇場・小劇場】

ロビー受付

- 主催者側の受付担当者をロビー受付に常時配置してください。当日券販売やプログラムの配布、チケットのお預かりなどは主催者側受付でお願いいたします。
- 消防法の規定により客席の定員は厳守してください。場内の混乱が予想される場合、入場制限をすることもございます。事故が起こらないよう十分な配慮をお願いいたします。
- 雑音防止等のため、お客様による客席内への花束の持ち込みはご遠慮いただいております。楽屋への取次ぎはいたしませんので、楽屋見舞いの方は外から楽屋口へお回りいただくようご案内をお願いいたします。
- 許可無く壁面・扉・座席等に張り紙をしたり釘類を打たないでください。

公演終了後

- 公演終了後40分以内に楽屋から退出してください。(終演の遅い方も午後10時までに退出をお願いいたします。)
- ロビー、客席、舞台、楽屋の施設、機具等は使用終了後元の状態に戻してください。持ち込んだ器材等は使用者が責任を持ってお持ち帰りください。
- 残ったプログラムやダンボール、祝い花等はお持ち帰りください。
- カードキーは責任を持ってご返却ください。

使用料金

使用料金

- 上演内容により劇場使用料に種別区分がございます。詳しくは施設利用係までお問い合わせください。
 - 使用料には「当劇場の業務範囲」(2ページ)を担う必要な職員が含まれます。
- ※使用料金は別途料金表を参照してください。

その他費用

- 舞台装置等の使用に関しまして、別途使用料をご負担いただきます。
- 「当劇場の業務範囲」(2ページ)を超える職員の協力料と請負業者作業員(大道具転換・照明操作・音響操作)の費用が発生いたします。(内容により、十数名～二十数名。)

精算

- 打合せ後担当者より概算額をお伝えいたします。公演当日の終演までに残額をお支払いください。

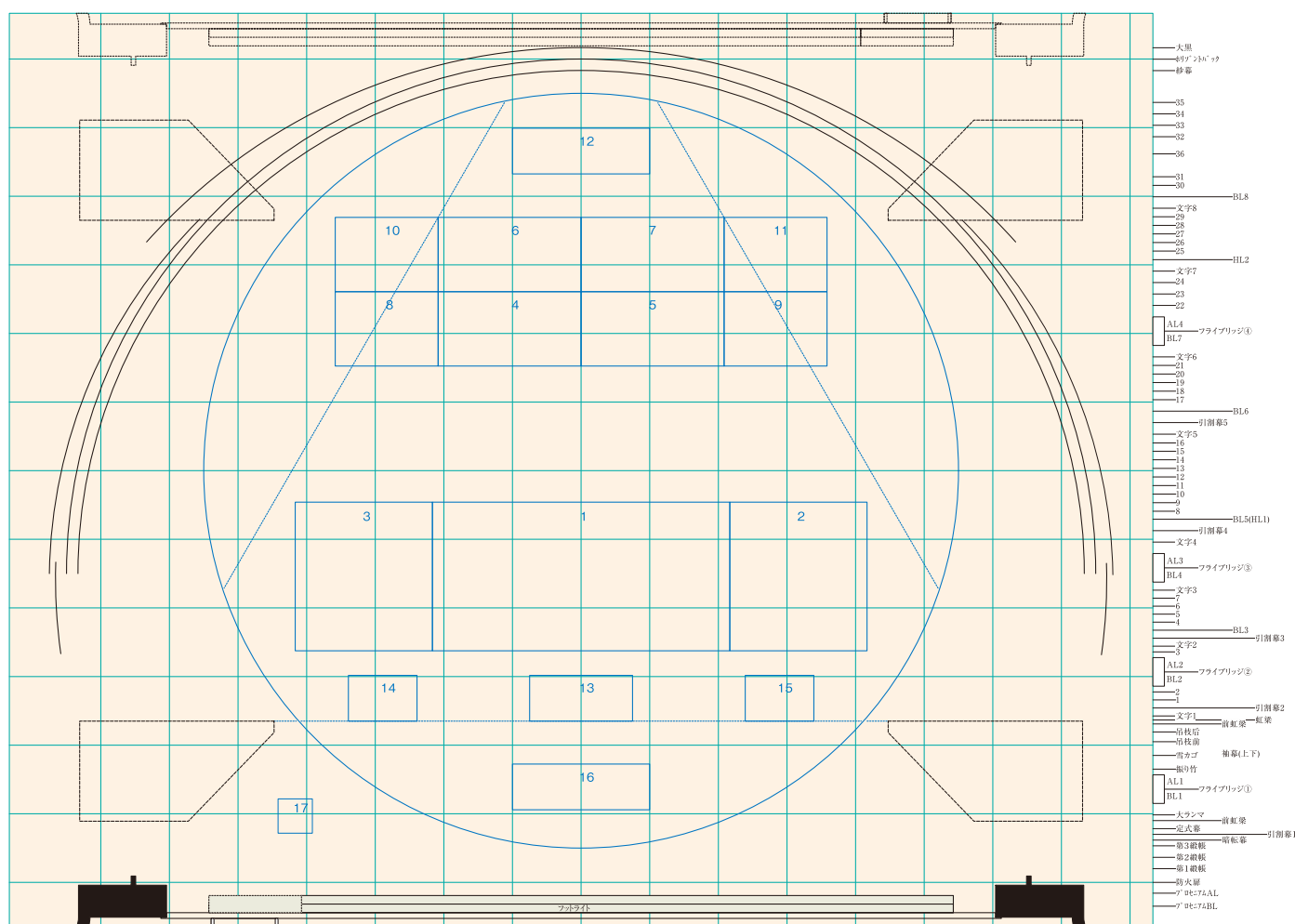
施設案内【大劇場】

大 劇 場



間口22.0m、奥行き26.95mと屈指の広さを持つ劇場です。25室の楽屋は舞台と同一平面上にあり、出演者の移動がスムーズに行えます。また、舞台そでにも十分な空間をとり、創造の場としての機能を重視した設計になっています。舞踊リサイタルや演劇公演にも満足いただける演出が可能です。なお、3階客席からも花道七三の演技を見ることができます。

舞台設備



1目盛りは6尺(約1.8m)

施設案内【大劇場】

大劇場舞台機構表

舞 台 設 備	プロセニウム間口	22.00m(12間7寸)	舞 台 設 備	大 迫 り	15.14m(8間2尺) ×3.94m(2間1尺) 3分割1台		照 明 設 備	設 備 総 容 量	750KVA		
	プロセニウム高さ	6.30m(3間2尺)				負 荷 回 路 総 数		674回路			
	舞 台 の 奥 行	26.95m(14間4尺)				調 光 ユ ニ ッ ト 数		642台			
	ス ノ コ の 高 さ	18.95m(10間2尺)		中 迫 り	13.00m(7間1尺) ×3.94m(2間1尺) 8分割1台			調 光 信 号	DMX-512伝送制御		
	花 道 の 長 さ	19.30m(10間3尺7寸)			記 憶 容 量	2,000シーン					
	花 道 の 幅	1.21m(4尺)			ボ ー ダ ー ラ イ ト	9列					
	奈 落 の 深 さ	6.70m(3間4尺)		小 迫 り	5台			サ ス ペ ン シ ョ ン ラ イ ト	5列		
	廻 り 舞 台	直径20.00m(11間) 回転速度 180°(半回転) 高速 40秒 最低 2分22秒			舞 台 設 備	ス ッ ポ ン		2分割1台		ホ リ ゾ ン ト ラ イ ト	2列
								吊り物	照 明 関 係		20本
						緞 帳			3本	客 席 側 壁 部	2層
そ の 他			36本			音 響 調 整 卓	92入力、57出力				
そ の 他			下座、ちよぼ床			効 果 卓	53入力、66出力				
						プロセニウムスピーカ	3系統(L、C、R)				
						サイドスピーカ	2系統				
						ステージスピーカ	16系統				
			ウオールスピーカ	6系統							
			シーリングスピーカ	3系統							

楽屋施設

12畳 19室(うち、間仕切襖により、10室は二間続き、
4室は可動間仕切壁により二間続き)

6畳 6室

計25室

頭取部屋、衣裳部屋、床山部屋(立方)、
床山部屋(女形)、小道具部屋、
大浴場1室、小浴場2室、給湯場、
男性トイレ、女性トイレ

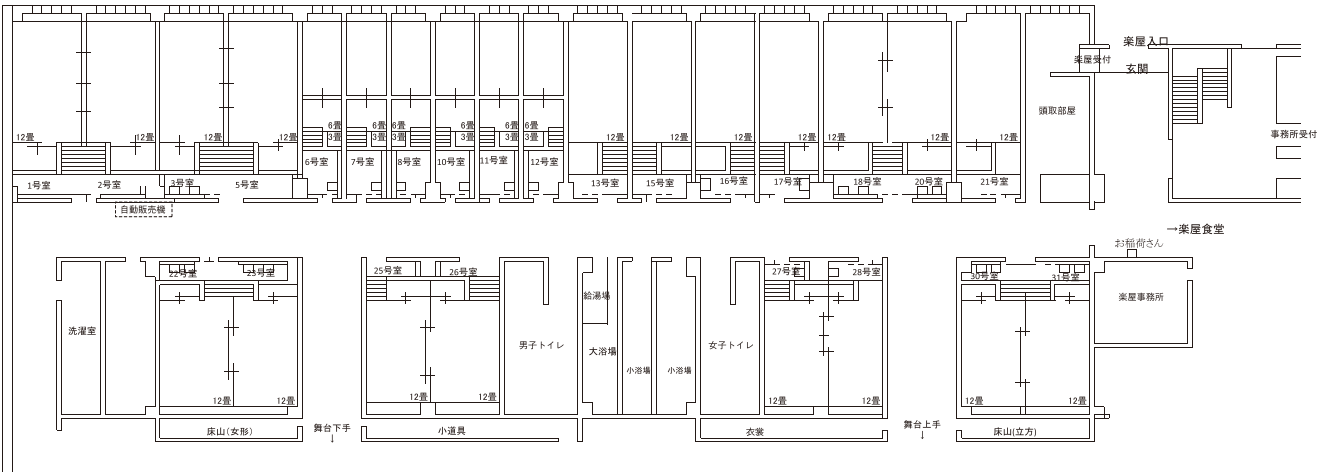
楽屋食堂(小劇場と兼用)
有料ロッカー
飲料自動販売機

※稽古場を楽屋として使用することはできません。



大劇場楽屋

大劇場楽屋配置図



施設案内【大劇場】

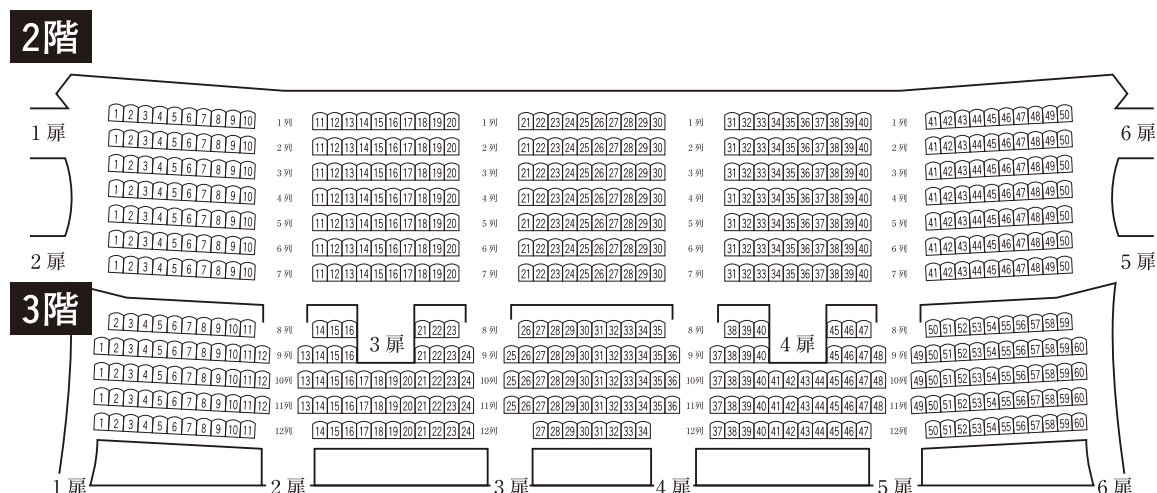
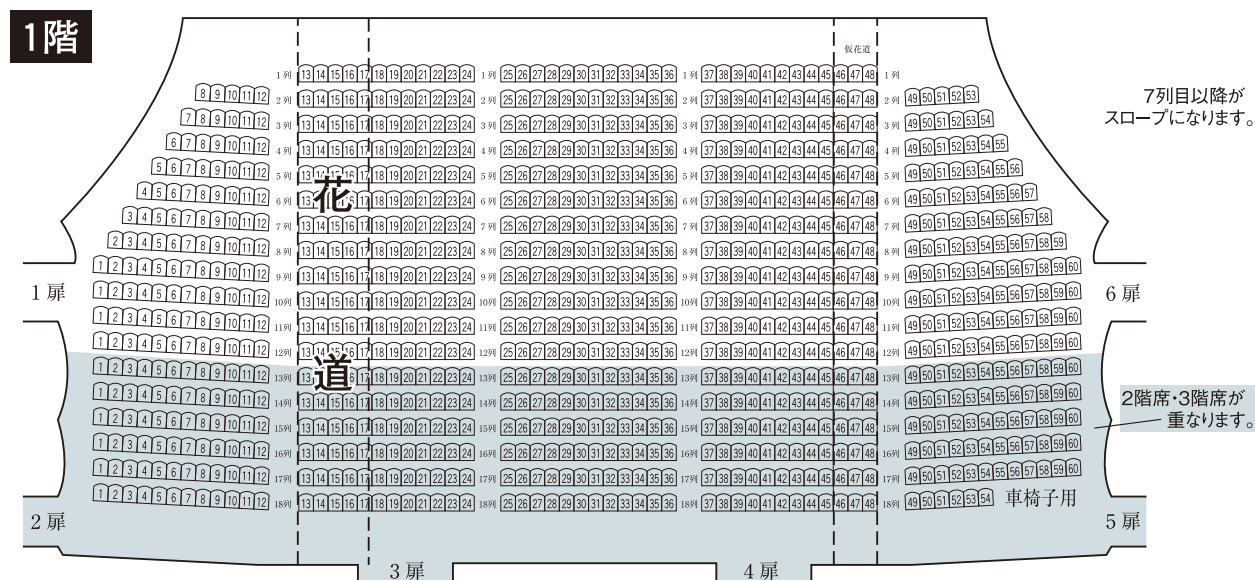
客席設備

花道有り 1,520席(1階 904、2階 350、3階 266)

花道撤去時 1,610席(1階 994、2階 350、3階 266)

車椅子スペース有り

※花道を撤去する場合、別途料金が発生します。



ロビー施設

第1食堂(2階)

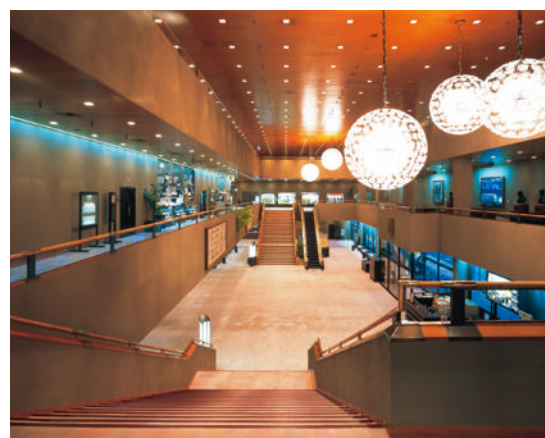
第2食堂(3階)

喫茶室(1・3階)

売店(1・2階)

救護室・携帯品ロッカー

多目的トイレ



大劇場ロビー

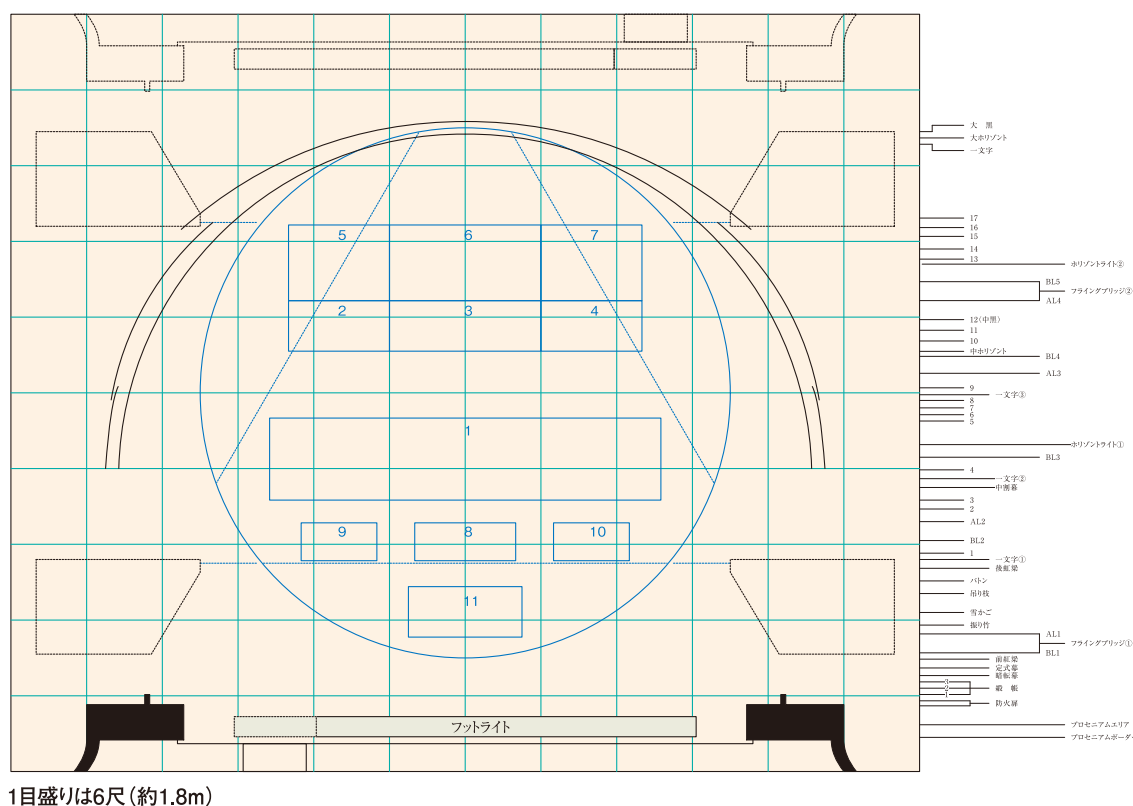
施設案内【小劇場】

小 劇 場



舞台は間口13.6m、奥行き19.25mと、舞踊・邦楽のリサイタルや温習会に最適な大きさです。大劇場同様、10室の楽屋はすべて舞台と同一平面上で出演者の移動がスムーズに行え、回り舞台、迫りなど、公演に必要な機能を完備しています。

舞台設備



施設案内【小劇場】

小劇場舞台機構表

舞 台 設 備	プロセニウム間口	13.60m(7間2尺)	舞 台 設 備	大迫り		9.40m(5間1尺) ×1.97m(1間5寸) 1台		照 明 設 備	設 備 総 容 量	450KVA		
	プロセニウム高さ	5.50m(3間)				中迫り			8.48m(4間4尺) ×3.02m(1間4尺) 6分割1台		負 荷 回 路 総 数	414回路
	舞 台 の 奥 行	19.25m(10間3尺)							スノコの高さ		16.10m(8間4尺)	調 光 ユ ニ ッ ト 数
	花 道 の 長 さ	18.10m(10間)		小迫り		4台			調 光 信 号	DMX-512伝送制御		
	花 道 の 幅	1.21m(4尺)				スッポン			2分割1台	記 憶 容 量	2,000シーン	
	奈 落 の 深 さ	6.70m(3間4尺)		吊 り 物	照 明 関 係	13本	ボ ー ダ ー ラ イ ト		6列			
	廻 り 舞 台	直径12.72m(7間) 回転速度 180°(半回転) 高速 39秒 最低 3分42秒			緞 帳	3本	サスペンションライト		5列			
					そ の 他	17本	ホリゾンライト		2列			
					そ の 他	文楽廻し 舟底	客 席 天 井 部		2列			
							客 席 側 壁 部		2層			
							音 響 設 備		音 響 調 整 卓	64入力、40出力		
									効 果 卓	16入力、40出力		
						プロセニウムスピーカ			2系統(L、R)			
		サイドスピーカ	2系統									
		ステージスピーカ	10系統									
		ウォールスピーカ	2系統									
			シーリングスピーカ	2系統								

楽屋設備

- 21畳 1室 (間仕切により二間続き)
 18畳 1室
 16畳 2室 (間仕切により二間続き)
 15畳 1室 (間仕切により三間続き)
 12畳 2室
 6畳 2室
 4畳 1室 計10室

頭取部屋、衣裳部屋、床山部屋、小道具部屋、
 浴室2室、給湯場、男性トイレ、女性トイレ

特別洋室(有料)

楽屋食堂(大劇場と兼用)

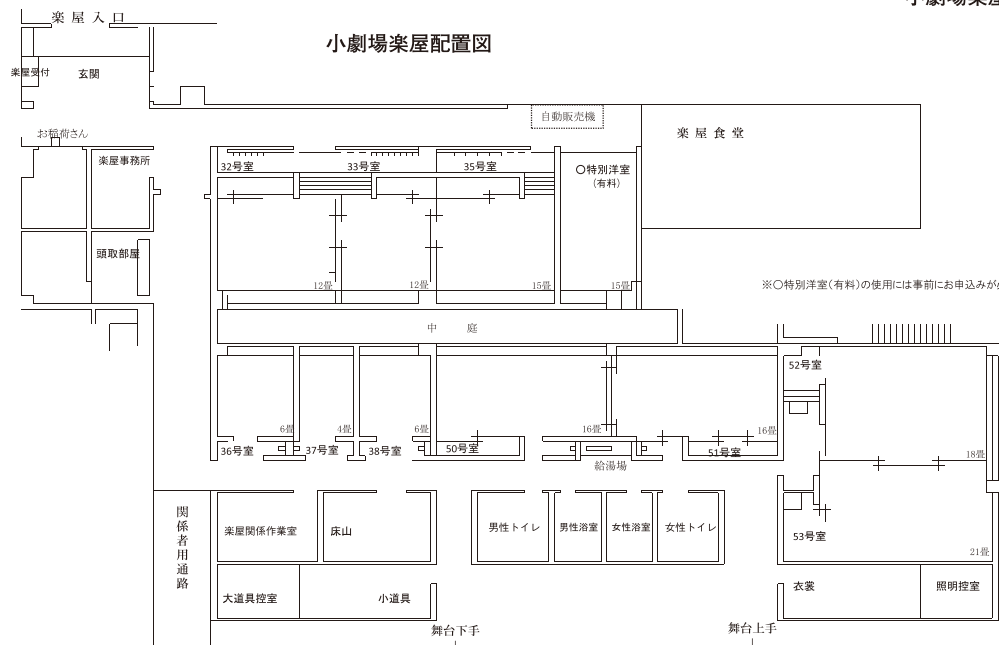
有料ロッカー

飲料自動販売機

※稽古場を楽屋として
 使用することはできません。



小劇場楽屋



施設案内【小劇場】

客席設備

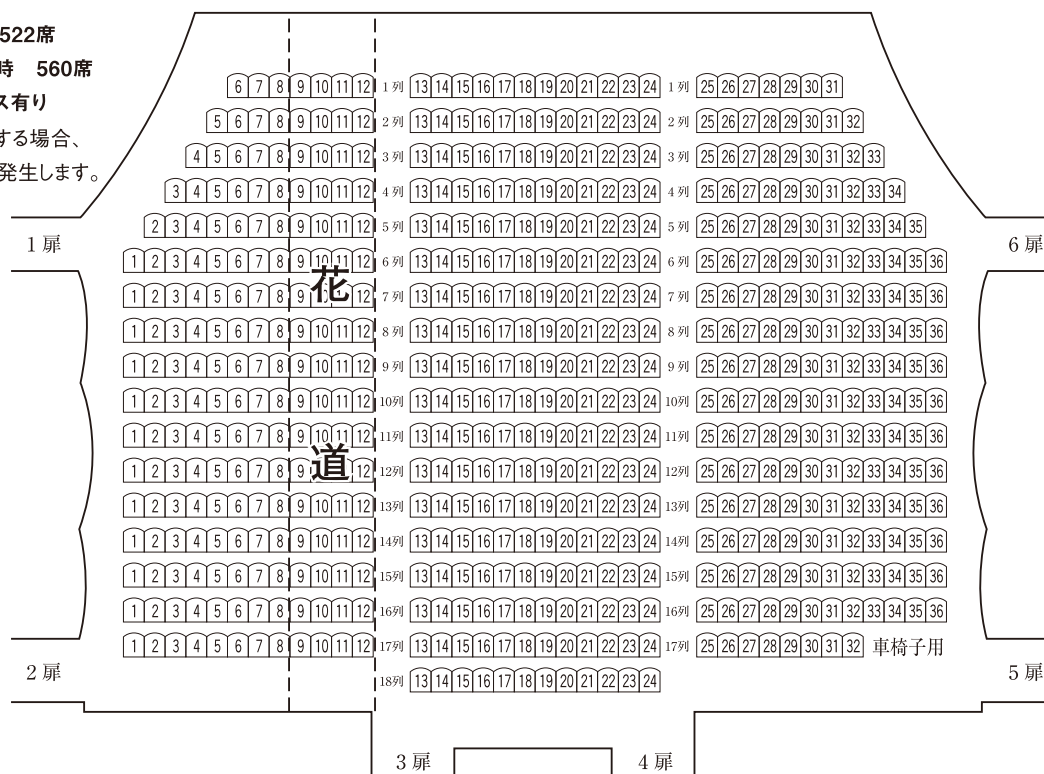
全席 590席

花道設置時 522席

出語り床設置時 560席

車椅子スペース有り

※花道を設置する場合、
別途料金が発生します。



ロビー施設

第1食堂(2階)

喫茶室(3階)

売店

救護室・携帯品ロッカー

多目的トイレ



小劇場ロビー



利用案内【演芸場】

使用方法

使用可能日

自主公演に使用する日、舞台保守・工事日等を除いた日程

※自主公演が昼公演のみの場合「夜間」での使用が可能ですが、使用に大きな制限がかかります。
施設利用係と十分ご相談の上お申し込みください。（基本的に寄席形式のみでの対応となります。）

使用時間

使用時間は下の6つに区分されています。なお、下記使用区分時間は舞台上をご使用になれる時間（舞台準備・舞台稽古の時間を含む）です。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1.全日（午前10時30分～午後9時30分） | 4.午後（午後1時～午後4時） |
| 2.半日（午前10時30分～午後4時） | 5.夜間（午後5時～午後9時30分） |
| 3.午前（午前10時30分～正午） | 6.午後夜間（午後1時～午後9時30分） |

1.全日（午前10時30分～午後9時30分）		
2.半日（午前10時30分～午後4時）		
3.午前 （午前10時30分～正午）	4.午後 （午後1時～午後4時）	5.夜間 （午後5時～午後9時30分）
6.午後夜間（午後1時～午後9時30分）		

※上演内容によっては舞台準備、仕込等の時間が多めに必要な場合がございます。ご使用にあたっては時間に十分余裕を持った計画をお立てください。

※**楽屋入り時間**は使用区分時間を目安にお考えください。昼公演のある場合の「夜間」使用は、昼公演の出演者の退出、楽屋清掃後に楽屋入りをお願いいたします。

※**開場時間**は原則として開演時間の30分前です。

※**最終終演時間**を厳守してください。超過した場合は超過料金を徴収し、以後の劇場使用に制限を加える場合もございますのでご注意ください。

※**楽屋退出**は終演後40分以内をお願いいたします。（終演の遅い方も午後10時までに退出をお願いいたします。）

※演出につきましては、定席公演など自主公演に影響の無い範囲での使用をお願いしております。また、舞台上の床は大変柔らかい素材を使っており傷や汚れが付きやすくなっています。この点ご考慮のうえ、上演内容を前もって施設利用係と十分ご相談ください。内容によっては変更をお願いしたりお断りすることもございます。

当劇場の業務範囲

当劇場のご使用にあたって、劇場では下記の業務を行います。これを超える範囲につきましては、請負業者に人員を発注いたします。また、主催者側に人員のご用意をお願いすることもございます。

※必要な小道具、衣裳、めくりなどは主催者側でご手配ください。

1 舞台技術 スタッフ

- ①劇場備品（定式大道具等）の管理及び使用説明・基本的な操作
- ②劇場照明器材の管理及び使用説明・基本的な操作
- ③劇場音響器材の管理及び使用説明・基本的な操作

2 場内案内 スタッフ

- ①入場時のチケットもぎり
- ②ご来場者の座席案内
- ③基本的な場内アナウンス

ご使用までの流れ

使用 申し込み

演芸の公演に関しては使用の約2年前の2月頃(受付開始日はお問い合わせください。)から、それ以外の公演に関しては使用の半年前から受け付けております。施設利用係まで希望日をご相談ください。使用日が内定しましたら書類(使用申込書)を提出していただきます。

- ❖18・19ページの注意事項をご確認ください。
- ❖特に国立演芸場を初めてご使用の方は、使用条件、上演内容等につきまして施設利用係へご相談ください。
- ❖「使用申込書」に記載以外の目的に使用することはできません。

予約保証金 納入

請求書を発行いたしますので、予約保証金の納入をお願いいたします。予約保証金は使用料の50%です。予約保証金の納入を確認して使用の正式ご契約が成立します。

- ❖期限までに予約保証金が納入されない場合、ご使用が取り消されることもありますのでご注意ください。
- ❖納入された予約保証金は、原則としてキャンセルの場合でもお返しいたしませんのでご了承ください。
- ❖使用权の譲渡はできません。使用者の死亡や襲名によって名義が変更になる場合にはご連絡ください。

事前 打合せ

使用の一ヶ月程度前に舞台(舞台進行・道具・照明・音響)、会場まわり等について、担当者と十分な打合せを行っていただきます。前もって所定の用紙をお送りしますので、公演の詳細を記入してご提出ください。追って担当者から連絡を差し上げます。内容によってはご来場のうえ、舞台スタッフと綿密な打合せをお願いすることもあります。

打合せ内容

- ❖器材搬入、稽古(リハーサル)、開場、開演、終演、器材搬出の時間について
- ※特に、開場、開演、終演時間については、ポスター・チラシ・プログラム等を印刷する前にご相談ください。(→18ページ「印刷物の作成」参照)
- ❖催し物の進行について(舞台上の飾り・使用道具等、照明、音響)
- ❖出演者の総数、楽屋割り、到着時間について
- ❖当日の会場の受付、案内、場内・場外整理の方法及び人員について
- ❖物品販売、取材等の有無
- ※舞台図、仕込図、プログラム(チラシ)、台本、進行表など公演の参考になるものを前もってご提出ください。

下記ページもご覧ください。
・その他サービス→17ページ
・注意事項→18ページ

公演 当日

楽 屋

- 楽屋入り時間は厳守してください。楽屋入りは各使用区分の開始時間を目安にお考えください。昼公演のある場合の「夜間」使用の方は、昼公演の出演者が退出し清掃が終了してからの楽屋入りとなります。(午後5時以降) それ以前にお越しになられても楽屋へは入れませんので、その旨出演者の皆様にご周知願います。駐車場も同様の扱いとなります。※昼公演の無い場合の楽屋入りに関しては施設利用係にご相談ください。
- 定席公演期間中の夜間使用の場合、第一楽屋はご使用いただけません。

利用案内【演芸場】

- 楽屋での盗難については責任を負いません。使用者が責任を持って管理してください。
- 楽屋内および舞台上は土足禁止です。
- 楽屋とロビー間の通行は関係者以外ご遠慮ください。
- 出演者であってもロビーに出られる方は必ずチケットをご持参ください。
- その他楽屋係の指示に従ってください。

開場前

- 劇場スタッフ及び資料用として担当者にプログラムを13部ご提供ください。
- 開場前に客席・場内にある荷物等は撤去いたしますのでご了承ください。特に開場前の席おさえはご遠慮ください。
- 開場時には数名の整理員をロビーに配置してください。特に開場前に多数の来場者がある場合、主催者側の責任で整理に当たってください。

ロビー受付

- 主催者側の受付責任者をロビー受付に常時配置してください。当日券販売やプログラムの配布、チケットのお預かりなどは主催者側受付でお願いいたします。
- お客様の楽屋とロビー間の通行はご遠慮いただいております。楽屋へご用のお客様は外から楽屋口へご案内お願いいたします。
- 消防法の規定により客席の定員は厳守してください。場内の混乱が予想される場合、入場制限をすることもございます。事故が起こらないよう十分な配慮をお願いします。
- 許可無く壁面・扉・座席等に張り紙をしたり釘類を打たないでください。

公演終了後

- 上演終了後40分以内に楽屋から退出してください。(終演の遅い方も午後10時までに退出をお願いいたします。)
- ロビー、客席、舞台、楽屋の施設、機具等は使用終了後、元の状態に戻してください。持ち込んだ器材等は使用者が責任を持ってお持ち帰りください。
- 残ったプログラムやダンボール、祝い花等はお持ち帰りください。

使用料金

使用料金

- 上演内容により劇場使用料に種別区分がございます。詳しくは施設利用係までお問い合わせください。
- 使用料には「当劇場の業務範囲」(12ページ)を担う必要な職員が含まれます。
- ※使用料金は別途料金表を参照してください。

その他費用

- 舞台装置等の使用に関しまして、別途使用料をご負担いただきます。
- 「当劇場の業務範囲」(12ページ)を超える演出等がある場合には、請負業者作業員の費用が発生いたします。

精算

- 打合せ後担当者より概算額をお伝えいたします。公演当日の終演までに残額をお支払いください。

施設案内【演芸場】

演 芸 場



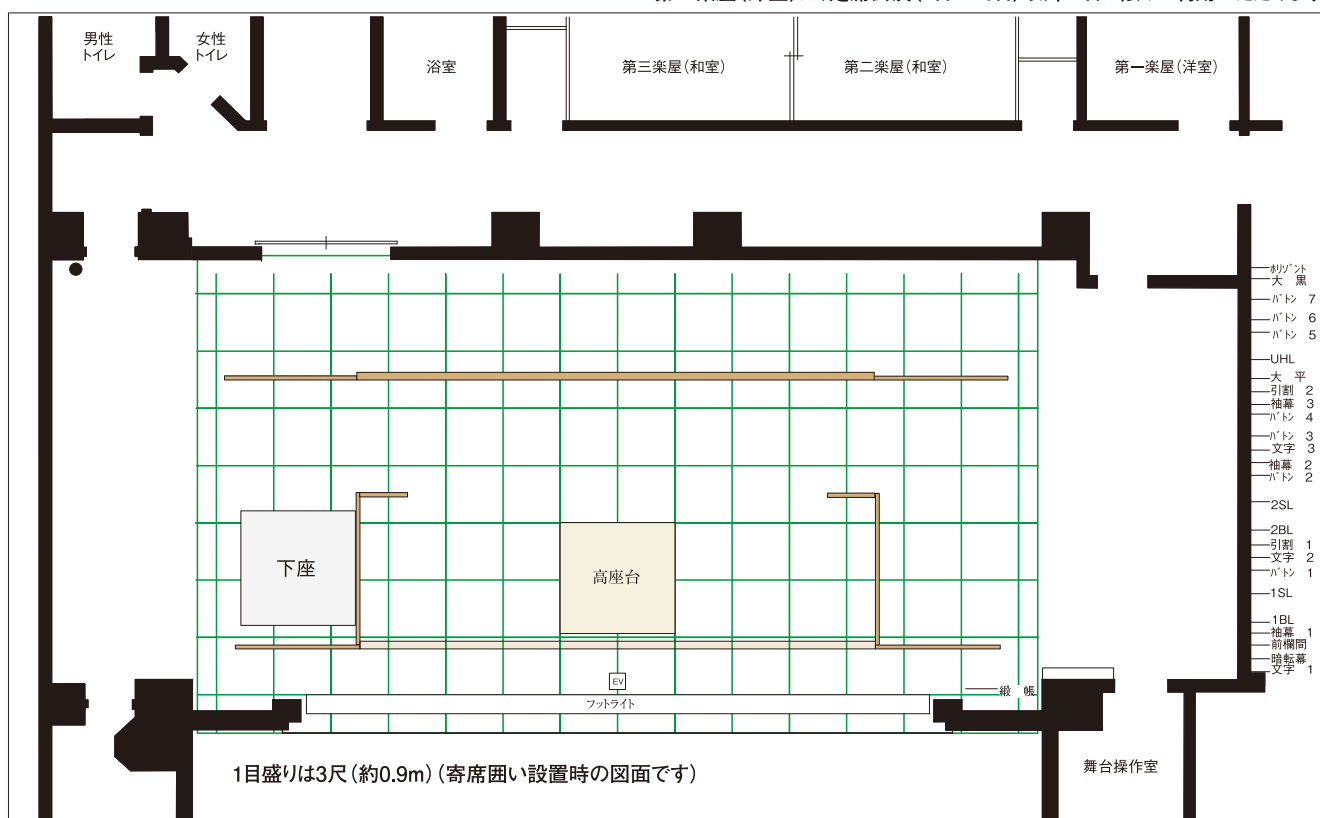
落語・漫才・講談など大衆芸能向きのホールです。300席という適度な大きさは、客席と舞台の一体感と親密な雰囲気を作り、演芸等の公演に最適です。



寄席囲い設置時

舞台設備

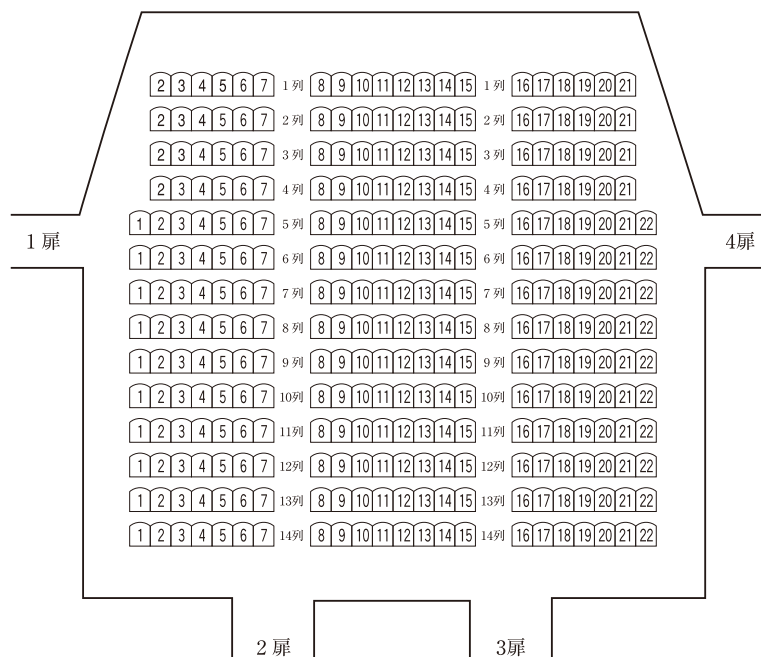
※第一楽屋(洋室)は、定席公演(1日～20日)以外の日に限りご利用いただけます。



施設案内【演芸場】

客席設備

全席300席



楽屋設備

和室6畳 2室（通常1室として扱いますが、襖の設置によって2室として使用可能です。）

洋室3畳 1室（定席公演の無い日に限りご利用いただけます。）

浴室1室

男性トイレ

女性トイレ

給湯室



演芸場楽屋

ロビー施設

売店

救護室

携帯品ロッカー

多目的トイレ



演芸場ロビー

演芸場舞台機構表

舞 台 設 備	プロセニウム間口		10.0m(5間2尺)	照 明 設 備	設 備 総 容 量		180KVA
	プロセニウム高さ		4.5m(2間2尺)		負 荷 回 路 総 数		198回路
	舞 台 の 奥 行		7.7m(4間1尺)		調 光 ユ ニ ッ ト 数		170台
	ス ノ コ の 高 さ		11.2m(6間)		調 光 信 号		DMX-512伝送制御
	吊 り 物	照 明 関 係	6本		記 憶 容 量		1,000シーン
		緞 帳	1本		ボ ー ダ ー ラ イ ト		2列
		そ の 他	8本		サ ス ペ ン シ ョ ン ラ イ ト		3列
					ホ リ ズ ン ト ラ イ ト		1列
			客 席 天 井 部		2列		
音 響 設 備				音 響 調 整 卓		48入力、48出力	
				プロセニウムスピーカ		2系統(L、R)	
				サイドスピーカ		2系統	
				ステージスピーカ		5系統	

その他サービス

入場券の作成 (有料)

入場券の作成を承ります。「入場券作成申込書」をご提出ください。

※各劇場の定員を勘案のうえ、作成枚数をお決めください。(18ページ「定員の遵守」もお読みください。)

※券面のデザインは、定型のみとなります。

※私製券を発行する場合は18ページ「私製券の発行」をご覧ください。

劇場窓口でのチケット委託販売 (有料)

劇場窓口にてチケットの前売り販売を承ります。

※チラシ作成の際は18ページ「印刷物の作成」をご覧ください。

※窓口販売のみとなります。電話等での入場券予約は承っておりませんのでご了承ください。

※注意事項がございますので、ご検討の際に施設利用係へご相談ください。

お客様への情報提供

●チラシやポスターを劇場にお出しします。

※印刷物の作成時には18ページ「印刷物の作成」の注意事項をご覧ください。

●「日本芸術文化振興会ニュース」の月間催し物スケジュールに主催者名とお問合せ先を掲載いたします。

●日本芸術文化振興会ホームページ(<http://www.ntj.jac.go.jp/>)内の各劇場ページに公演情報を掲載いたします。公演に関するホームページをお持ちの場合はリンクいたします。

※非掲載をご希望の場合はお申し出ください。

※掲載は公演の二ヶ月程度前になります。

会報「あぜくら」への広告掲載 (有料)

伝統芸能愛好家の方々に向けた国立劇場の観客組織「あぜくら会」の会報「あぜくら」(毎月1回発行)に、公演広告の掲載、チラシの挟み込みを承ります。

駐車場のご使用

公演当日は施設利用係で発行した駐車票により、大劇場12台・小劇場10台・演芸場3台まで無料で駐車いただけます。駐車票は主催者にお渡しいたしますので、駐車票を提示してそれぞれの指定場所に駐車してください。それを超えるお車は有料駐車場(第一駐車場、第二駐車場)のご利用をお願いいたします。

※機材等の搬入出車の留め置きはできませんので、作業終了後に有料駐車場へ駐車してください。

※大型バス等のご来場の予定がある場合は前もってお知らせ願います。

※駐車場内での事故・盗難などのトラブルは劇場では一切責任は負いませんのでご了承ください。

※稽古室等ご利用の際は、有料駐車場をご利用ください。

※演芸場楽屋口前の駐車場は、定席公演期間中は午後5時以降のご利用となります。

都バスの手配 (大劇場・小劇場のみ) (有料)

終演にあわせて劇場前から発車する都バスを手配いたしますのでお申し出ください。行き先は新宿駅西口(四谷経由)、東京駅南口(有楽町経由)です。なお、ご乗車になるお客様には別途乗車料金をお支払いいただきます。

注意事項

印刷物の作成

ポスター、チラシ、プログラム、入場券等の印刷物については、下記注意事項を留意のうえ作成してください。ご不明な点は、作成案の段階で施設利用係にご相談ください。

- 国立劇場のロゴ、及び天女マークの使用はできません。
- 問合せ先は必ず主催者とし、主催者の電話番号や所在地を明記してください。
- 公演案内のダイレクトメール等発送の際は、送付元住所をはっきりと記入してください。
- 劇場窓口でのチケット委託販売の取り扱いは「国立劇場チケット売場」です。「国立劇場チケットセンター」ではございませんので、チラシ・ポスター作成の際は名称・電話番号にご注意ください。

私製券の発行

私製券を発行する場合、見本を添付して「私製券発行届」をご提出ください。

各劇場の定員を勘案のうえ、作成枚数をお決めください。（下記「定員の遵守」もお読みください。）

定員の遵守

収容定員を超える入場はお断りいたします。

定員以上のお客様が入場になりますと、万一の際にお客様の安全な避難の妨げとなって大変危険です。入場者数が定員を超えた場合主催者の責任において入場制限をお願いすることもあります。消防署からも強く指導を受けておりますので、ご協力をお願いいたします。

関係官公署への届出

次の届出が必要な場合は各連絡先にお届けください。手続きには時間がかかりますので、時間の余裕を十分とって申請してください。施設利用係では手続きの代行はいたしませんのでご了承ください。

❖ 本火・スモークマシン他危険物品の使用等

麹町消防署予防課

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-12 TEL 03(3264)0119

※許可が必要な行為がある場合は事前にお知らせください。消防署の許可が取れたら許可証を提出してください。

※消防による現場査察が行われる場合は、詳細をご確認のうえ、事前に施設利用係へお知らせください。

❖ 著作権関係

一般社団法人日本音楽著作権協会 東京イベントコンサート支部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-17-1 日本生命新宿西口ビル10F

TEL 03(5321)9881

※その他関係官公署への届出が必要な場合がございます。
各連絡先に十分余裕を持ってお届けください。

注意事項

使用の内容や制限について

以下の内容が該当する場合、お申し込みできません。

- 特定の宗教や政党・政策を支持、又は反対するための催し
- 使用の目的が日本芸術文化振興会設立の目的に反する催し
- その他、施設の管理運営上、使用が適当でないと認められる催し



以下の場合、使用の取り消し、または公演の中止をすることがあります。
その際に生じた損害の賠償はいたしません。

- 使用申込書に虚偽があったとき
- 秩序を乱し、公益を害するおそれがあると認められたとき
- 建物・施設・付帯設備等を破損、滅失させるおそれがあるとき
- 使用の権利を他に譲渡、または転貸があったとき
- 提出書類(使用申込書等)と異なる内容のとき
- 諸法令等により、警戒宣言等が出たとき
- 関係諸官庁から中止が命令されたとき
- 使用の条件に違反し、又は日本芸術文化振興会の指示に従わないとき
- その他、使用させることが適当でないと判断されるとき

安全上の配慮

- 舞台上にはさまざまな機構や道具等があり大変危険です。舞台担当者の指示に従って行動し、使用を許可されていない施設等の使用や立ち入りをしないでください。
- 事前に非常口や避難経路を確認し、出演者や入場者の安全確保をお願いします。特に避難経路上に物品等を配置することはおやめください。
- 幕類・道具類を持ち込まれる場合、必ず防災処理を施したものをご使用ください。
- 消防法、東京都火災予防条例、その他関係諸法令等を遵守してください。
- 緊急時の安全確保のため、客席通路に三脚等を立てることはご遠慮いただいております。また、補助席も設置できませんのでご了承ください。
- セキュリティのため、楽屋とロビー間の扉は施錠しております。
- 館内は禁煙となっております。ご協力をお願いいたします。

その他

- 許可無く寄付金・募金の募集、物品の陳列・販売等をしないでください。なお、食品の販売はご遠慮いただいております。
- 業者による写真やビデオ撮影は施設利用係の許可を得てください。申請書を提出の上、料金をお支払いいただきます。
- 客席内での写真撮影はフラッシュ使用を原則禁止しています。また、周囲のお客様へのご配慮をお願いいたします。
- 火災・地震・停電・盗難その他により公演に支障が生じた場合、使用者・出演者・観客等に事故が発生した場合、国立劇場に重大な過失が無い限り責任は負いかねますのでご了承ください。
- 各業務に従事する職員、ならびに劇場常駐の請負業者に対しまして、心づけ、お弁当などのご配慮は一切お断りいたしております。何卒この旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。

稽古室のご案内

申し込み方法

国立劇場（大劇場・小劇場）での公演の稽古室貸出可能日が決定後、当該年度使用者に稽古室申込書をお送りし、一斉に受付をいたします。以降も空きがありましたら随時ご使用いただけますのでお問い合わせください。

上記以外の稽古

国立劇場での公演を行わない方のご使用も受け付けております。受付開始はご使用月の二ヶ月前の最初の営業日です。施設利用係までお申し込みください。

※ご使用可能時間は10時～21時です。準備時間及び片付けの時間を含めてお申し込みください。

※使用料金は別添料金表を参照してください。

※お申し込みは、ご使用日の前日までに、電話又は来訪にてお願いいたします。

使用方法

- 当日使用開始・終了の際は、施設利用係までお出向きのうえ、開始・終了時間をお知らせください。
- 当劇場での公演以外の稽古の場合は、当日使用開始前に施設利用係にて精算手続等をしてください。
- カセットテープデッキ、MDプレーヤーを貸出いたします。（有料）
- 給湯器、お茶器をご用意しておりますのでご自由にお使いください。茶葉、布巾等はお持ち参ください。なお、使用後は洗って元の場所に収納してください。
- ゴミは一ヶ所にまとめてください。稽古終了後、清掃係が回収に参ります。
- お車でご来場の方は、劇場横の駐車場（有料）をご利用ください。

注意事項

- 当劇場の稽古室は、主に舞踊・邦楽など日本の伝統芸能の稽古場となっております。床には大変柔らかい素材を使用しておりますので下記のような事項は固くお断りいたします。
 - 靴（ステージシューズ）など履物での使用
 - 物を引きずる等、稽古室にキズを付けるような行為
 - 床面にテープ等で印をつける行為
- 稽古室で極端に大きな音が発生し（太鼓の稽古等）、上演中の公演に影響がでる場合は稽古を中止していただくこともございますので、あらかじめご了承ください。
- お申し込みいただいていない部屋の無断使用はご遠慮ください。
- 執務エリアである廊下等での稽古・打合せは劇場事務に影響いたしますので、固くお断りいたします。
- 使用時には防音のため扉を閉めてください。
- 楽屋、控室としての使用は、固くお断りします。
- 使用後は原状復帰をしてご退出ください。
- 稽古室は禁煙となっておりますので、指定の喫煙所をご使用ください。

稽古室のご案内



大稽古室（板敷き）
間口18.3m（10間1尺）
奥行14.3m（8間）
高さ4.0m（2間1尺）
面積261.7㎡（80坪・160畳）



小稽古室（板敷き）
間口7.6m（4間1尺）
奥行6.7m（3間4尺）
高さ2.4m（1間2尺）
面積50.9㎡（15坪・30畳）



本読室（畳敷き）
本読室①8畳
本読室②10畳



三階中稽古室（板敷き）
間口14.5m（8間）
奥行 6.8m（3間5尺）
高さ 4.0m（2間1尺）
面積98.2㎡（30坪・59畳）
※同時に控え室（板敷き:13畳）
もご利用いただけます。



独立行政法人日本芸術文化振興会



国立劇場

施設利用係

〒102-8656 千代田区隼町4-1

TEL 03-3265-7411 (代)

FAX 03-3265-9040

www.ntj.jac.go.jp/